

なきごえ



1978

4

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

富 樫 史 朗

私の動物との交遊は3歳の時、大阪市内のアパートから緑に囲まれた郊外の枚方市星ヶ丘に引っ越した時に始まる。しばらくの間は動物のなんでもかんでもが目新しいというよりは恐ろしく見



えたことをおぼろげに憶えている。そんな時、私を自然に親しむようしむけてくれたのは専ら田舎育ちの祖母だった。こうして私は野山に虫を追いかけて、川や池に魚をあさり、犬とたわむれて育つことになった。まず恵まれた方だろうが月並の部類だったと言えよう。その頃動物園の動物についてはどうだったかと言えば、もはや関心を全く失なっていた。小学校2年生の秋の遠足では京都の岡崎動物園に行った。後日、図画の時間に遠足の絵を描きなさいと言われて私はためらわず動物でなく行く道で見かけた試運転中のひかり号の絵を描いた。これは後々まで物笑いの種になったのだが今思ってみると果たして笑ってすませてよいかどうかは疑問である。私は今、園の社会教育活動のお手伝いに邁進している。それも「あの頃適切な助言者がいれば」ということも無関係ではない。その際、知識だけでなく野生動物とつき合うマナーも身につけることができればその人の人生に幅と彩りをもたらすことになると思う。

なきごえ4月号

動物と私	2
“ボクたちお友達”	3
動物園グラフ・動物園日記	4-5
ハ虫類舎の一週間	6-7
天王寺の動物たち	8-9
キーパーズ・アイ	10
動物園ニュース	11

私は中学・高校時代は専ら人文科学方面に心を奪われる反面医学に強い関心を示しはじめた。しかし再び動物に関心を寄せるようになったのは大学の獣医学生になってからのことだ。入学理由は偶然が重なったこととしか言いようがない不思議なものだ。ただ、入学後、私は自分が動物についてほとんど無知だったことに強い苛立ちを覚えた。ちょうど写真の勉強を始めていた時でもあって取材を兼ねて動物の観察を手がけた。ある時は堺市のキャンパス裏手にある古墳の堀にカモメの群を求めて吹雪の中をさまよいました。土曜の午後にはカメラを下げて動物園にもよく立ち寄ったものだったが、動物のしぐさに改めて意味深さを発見して一人喜んだものだった。また、動物園の存在自体が本来全くユニークなものであることにも気づいた。そうして2年前、創立と同時にボランティアズに加わったのは主に教育問題に対する関心からであった。それもようやく軌道に乗った様子で活動は日々活発になりつつある。

ここで振り返ってみれば私は獣医学生である訳で今度は勉強のためこの春休みに2週間ばかり、他の学生達と共に飼育実習をさせて戴いた。初めてサルやカラスやフクロウに友達ができただけでも我が交遊録に特筆すべきであろう。私は今、大学で細菌学方面を専攻しているが、1年生の時1カ月ばかり北海道の牧場で働いたことや今回の体験など「動物との出会い」が今後共続くことを願うものである。

(天王寺動物園ボランティアズ会員)

表紙の写真説明

“ヨウスコウワニ”

中国の熱帯地方以外に生息するこのワニは、中国特産の国際保護動物にも指定されている貴重な種類です。

(撮影：大野 尊信)



“ボクたちお友達”

3月25日に生まれたライオンの赤ちゃんは人工哺育で現在すくすくと育っていますが、4月15日に保護されてきたノウサギの赤ちゃんも同じミルクを飲んで育っており、ミルクが取りもつ縁でお友達になりました。

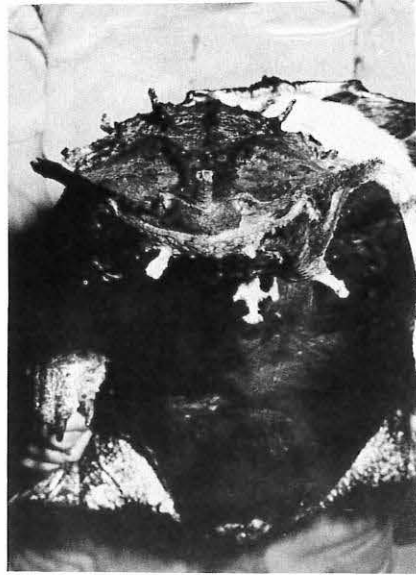
(撮影：宮下 実)

動物園グラフ

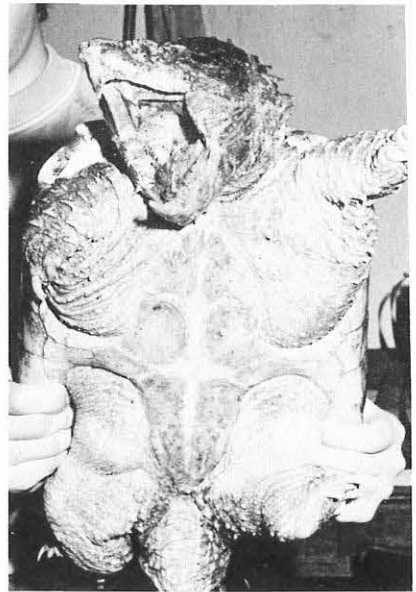
“カメの特集”

今回は動物園の珍しいカメを特集してみました。日本に生息するカメもそろそろ冬眠からさめる頃ですが、動物園のカメは冬でもスチームの入った部屋で年中活動をしています。

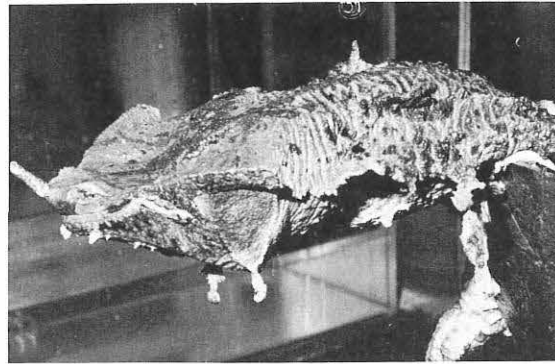
(撮影：大野 尊信)



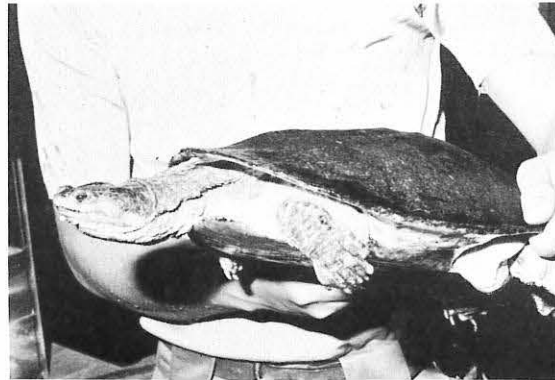
① これは何でしょう？
(マタマタの正面からみた顔です)



③ ワニガメ(アリゲーターズナッパー)
大きな鋭い歯は迫力満点。



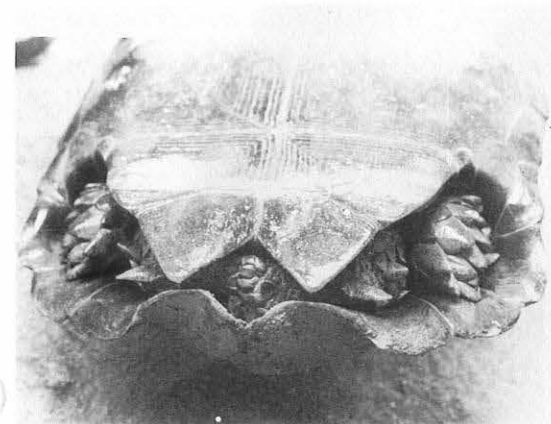
② ようにして食べます。
食物は大きな口をあけ、吸いこむようにして食べます。同じくマタマタの顔の側面です。



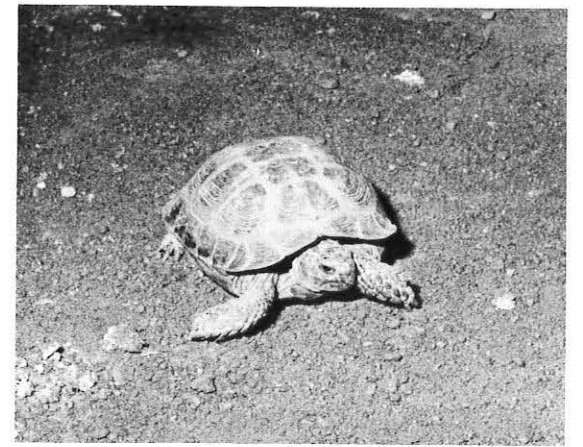
④ くします。
きず、甲らの横にまげて首をか甲らの中にひっこめることがでこの長い首は他のカメのようになんべいへビクビガメ



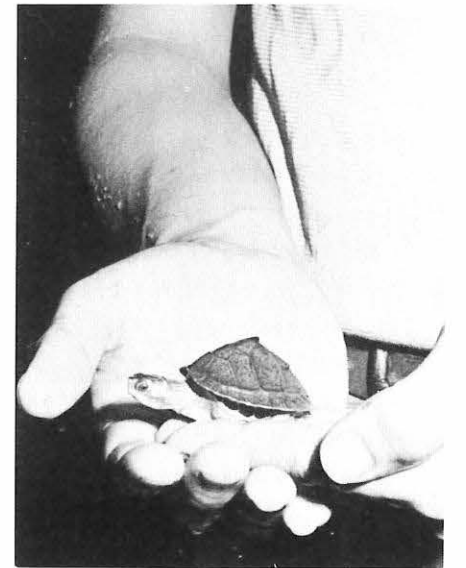
⑤ オオクビガメ
ごらんの通りの大きな首です。東南アジア、インドに分布しています。



⑦ ムツアシガメ
足は4本しかないのですが、後足と尾の間にあるトゲのような突起があることからこの名が付けました。この突起は傾斜地を登るのに、つかえ棒の役目をするといわれています。



⑥ ギリシアガメ
ペットとしてもよく飼われている陸ガメの一種で、餌は植物質を食べ、パン、野菜、果実を与えています。



⑧ ガンジスセダカガメ
背中がトゲのように突き出た珍しいカメです。

2・3月の動物園日記

- 2/6. オランウータンのサツキが外耳炎を起しているので治療しています。
- 8. 入院していたブタオザルのオスが寄生虫症のため死亡しました。
- 9. フサホロホロチョウのオスが衰弱しているので治療を始めました。
- 11. アメリカオシのオスが肝硬変のため死亡しました。
- 12. オオフクロウが卵を産んであたためていた

- のですが、検卵の結果、残念ながらことに無精卵であることがわかりました。
- 13. マガモ7羽を日本庭園の池に放しました。
- 14. トカラヤギのオスの後頭部化膿症が再発したので入院させ治療しています。
- 16. ケナガモルモットが子供を3頭産みました。
- 18. サルアパートのサル達に寄生虫の一斉駆除をしました。
- 19. ワシミミズクが1羽フ化し、人工で育てています。
- 20. 産卵期をひかえ、シュバシコウの巣へ巣材

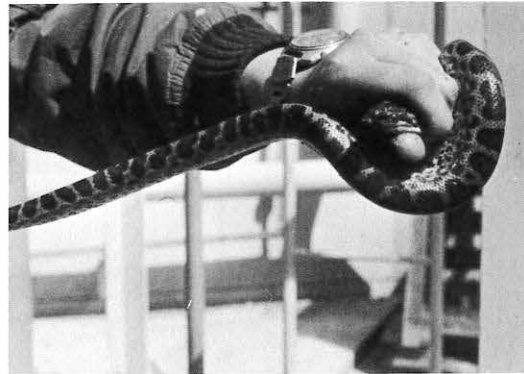
- になるヤナギの小枝を上げてあげました。
- 21. 昨年7月6日に生まれた、クロビヨウの仔の体重をはかるところ、もう20kgにもなっていました。
- 24. メンヨウがオスとメスの双子を産みました。
- 25. ライオンの最高齢のメス、ユキがメスの子を産みました。
- 28. トカラヤギが3つ子を産みました。
- 3/1. マンドリルのオスが下痢をしているので薬を飲ませました。
- 4. 大阪動物園ボランティアーズの定例集会が

- 開かれました。
- 6. 2月25日生れのライオンの仔が衰弱しているようなので引取って人工哺育を始めました。
- 7. カオジロリュウキュウガモ2羽、アメリカオシ2羽、オシドリ2羽の計6羽が寄贈されました。
- 9. イワトビペンギンのヒナが日本で初めてフ化しました。フ化日数は39日間でした。
- 10. イワトビペンギンに続き、ケープペンギンとファンボルトペンギンの間に出来たヒナもフ化しました。

ハ虫類舎の一週間

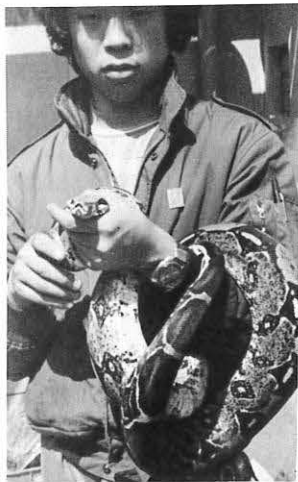
現在、当天王寺動物園には、ワニ4種類7点、ヘビ20種30点、カメ11種25点、トカゲ類3種7点が飼育・展示されております。

私がハ虫類を飼育してまだ一年足らずですが、それまでに誕生したハ虫類はイエローアナコンダ、青大将、スジオナメラの3種でした。この中で、青大将、スジオナメラはよく産卵しますが、イエローアナコンダは、当動物園ではじめてで、他動物園でも例がないとのことでした。



このイエローアナコンダは、他のスジオナメラ、青大将とちがって卵胎生、つまり体内で卵から仔ヘビにかわって生れてくるわけですね。だから生れた時によく親ヘビにつぶされて死んだものもありましたが、現在では2頭が順調に育っています。

では、ハ虫類舎の一週間の仕事を紹介してみましょう。日曜日は朝すこし早く来て、お客さんが来園するまでに、よごれたガラスをみがきます。そしてそれが終わると小ヘビ室（あまり大きくならないヘビ、トカゲ類の収容室）のそうじを行ないます。



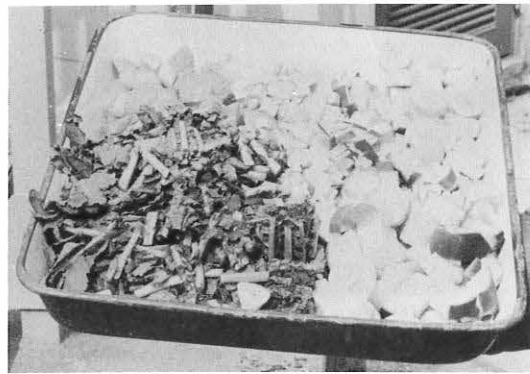
その後、にわとり小屋のそうじ、そしてその他のそうじを行ないます。それが終わるころには、ハ虫類舎のまわりには親子づれがたくさんヘビを見にきています。朝に洗ったガラスも、動物園が終るころにはたいへんよごれていて、ゴ

ミもたくさん落ちています。やはりゴミはゴミ箱に入れてほしいものです。

帰りには、一日の作業実態、動物の健康状態、動物舎の温度、その他の事等を記入して、小ヘビ室の照明を消して終了です。

月曜日は、やはり日曜日と同じ作業を行ない、よごれた大ヘビ室の池そうじなど、日曜日にできなかった仕事を行ないます。そして最後に作業日誌をつけ、小ヘビ室の照明を消して終了です。火曜日と同じような仕事を行ないます。そして、水曜日は一週間に1度のワニ類、カメ類、トカゲ類の給餌を行ないます。ワニ、カメ、トカゲの餌としては、ワニはクジラの肉や時にはコイ、ヒヨコを与えます。あまり水温が低すぎると食欲がなくなり、時には、2～3週間も食べない時があります。

カメ類は、コイをこまかく切り、骨や皮をとって与えます。コイの身の中にクジラを入れたりします。カメはもともと雑食性ですので、たいがいのは食べます。コイの切身を与えるのはアカミミガメやスッポンなどのカメで、ワニガメはコイの頭、マタマタはコイのそのままと与えます。マタマタは、他

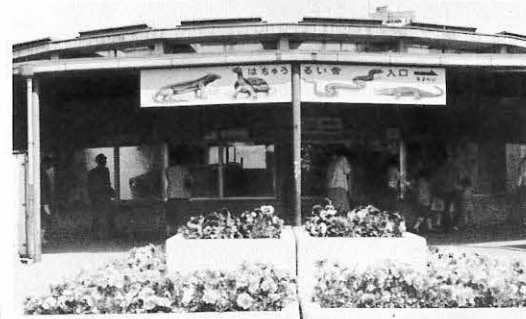


のカメと違ってそのままを飲みこみます。陸ガメに関しては毎日、リンゴ、ニンジン、サツマイモ、レタス、青菜、バナナをこまかく切り与えます。

以上が水曜日における作業内容です。

木曜日は、水曜日に餌を与えたカメのケースやワニの池そうじをし、夏の間は水道水を使いますが、冬期にはポイラーで湯を沸かし、各池やケースに送り込みます。ワニ池をそうじする時にはワニと同じ池に入って行なうので、ワニには十分に注意して行なわないととても危険な作業で、外からお客さんが

おもしろがってガラスをたたいたりすると、飼育係はびっくりする時がありますので、あまりガラスをたたかないようにしてほしいものです。



ヘビにも同じことがいえ、あまり動かないからといって、ガラスをたたくお客さんがいます。これはあまり感心したことはありません。

最後に同じ作業日誌を書くのですが、この日は、月に2度だけ、ヘビに生餌を与えます。大蛇類のアミメニシキヘビ、インドニシキヘビ、ボアなどは、その頭数にあわせてニワトリを与えますが、ハ虫類舎の中で一番大きなアミメニシキヘビとボアは同居しているので、まずアミメニシキヘビにニワトリを与えて、ころあいをみはからってボアにひなを与えなければなりません。そうしないと大きなアミメニシキヘビが、小さく食べやすいニワトリを一人占めしてしまいます。当動物園のアミメニシキヘビは全長約5メートル近くあり、ニワトリなど2羽～3羽も食べてしまいますので、中で作業する時は注意して行ないます。ヘビの餌はヘビの種類によって、餌の種類も異ってきます。例えば、大きなアミメニシキヘビやインドニシキヘビにはニワトリ、あまり大きくならないアオダイショウやスジオナメラ、ハイイロクリボにはヒヨコ、そして小さなヘビ、シマヘビ、レッドラットスネーク、イエローラットスネーク、ゴッファースネークにはマウス、そしてそれより小さなアフリカハウススネークにはマウスの子供を与えます。

金曜日は木曜日に残った餌をかたづけします。そしてその他は月曜日、火曜日と同じ作業を行ない、土曜日とも前日と同じ作業です。以上が一週間の作業内容です。

ハ虫類は冬の間もスチームが入っていてとても暖かいのですが、夏になって暖房を入れてなくてもとても暑く、2時間も入っているとシャツが汗でボトボトになります。

ヘビはあまり動きがありませんが、種類によってはよく動くヘビも中にはあります。また、ヘビトカゲの中にも当動物園で、少しの間しか飼育されなかったホウセキヘビ（宝石のようにきれいなヘビ）やアシナシトカゲ（読んで字のごとく足のないトカゲ）など珍しいハ虫類が入ったことがあります。やはり飼育がむづかしくすぐ死んでしまいました。

ヘビ、トカゲ、ワニ、カメなどのハ虫類は、顔の表情があまりはっきりわからなく（飼育経験が浅いのかも知れませんが）病気などをしても発見が遅れたり、またワニや毒ヘビ（当動物園ではマングローブスネーク）などは、つかまえて治療もしにくく、



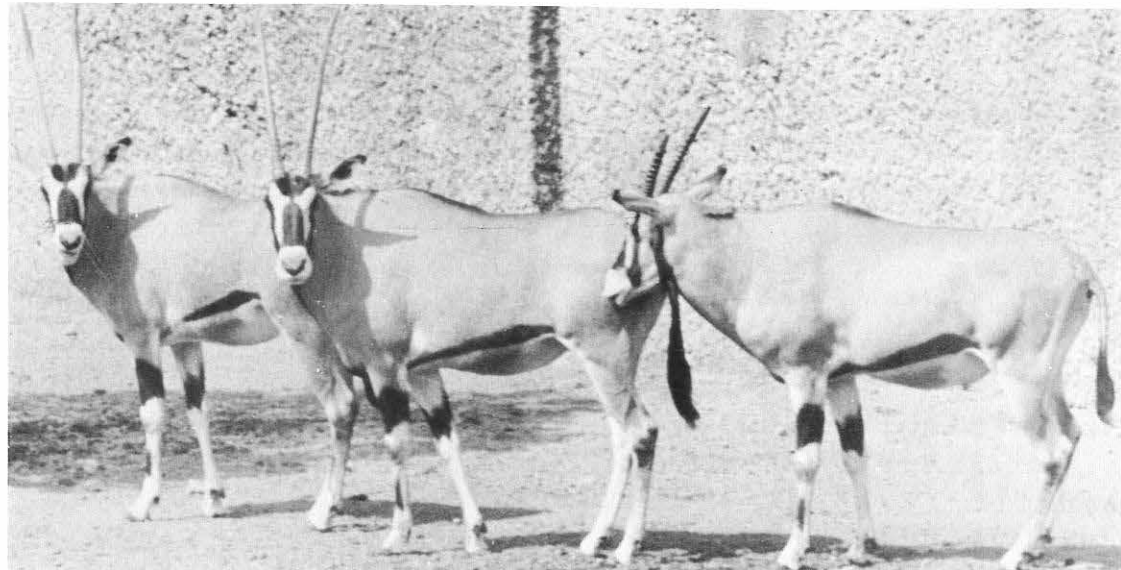
すぐ死んでしまったなどということが時にありました。

ヘビといえば、皆さんは気味が悪いとか恐ろしいかと思いますが、ヘビは人間がなにもしなければ攻撃してくることはまずありません。これからだんだんと暖かい春がやってきます。野や山でもつくしが芽を出すと共に、カエルなども冬眠からさめ、そしてヘビも顔をみせるでしょう。でも、みんながなにもしなければ、家庭でも嫌われているドブネズミなどを食べる場合がありますので、そのままそっとしておいて下さい。最後に、数限りある動物をみんなの手で守りましょう。

（飼育課：芝野 利夫）

天王寺の動物たち (20)

バイサオリックス



天王寺のバイサオリックス一家

§ 繁殖賞受賞

昭和30年4月8日、天王寺のバイサオリックスに子供が生まれました。そして、その仔は立派に育ちました。これは日本で初めてのことでしたので、日本動物園水族館協会から「繁殖賞」という大変名誉ある賞をいただきました。以来10頭もの子供が生まれ、バイサオリックスは天王寺動物園を代表する動物のひとつになっています。

§ 闘争性の強いオス

中央門を入ってすぐ右に曲り、ツル舎の左手にある土堤を登るとシカやレイヨウ達がのんびり遊ぶ広い運動場が見えます。ここがカモシカ園です。カモシカ園は天王寺で最も広い運動場をもつ動物舎で、約2000㎡もあります。ここで現在6種38頭のシカやレイヨウ類と3頭のバイサオリックスが飼われています。昭和42年9月生れのメスのチャド。49年6月生れの3世のオス、マック。51年8月に生れた、やはり3世のメス、チャッピーの3頭です。2年前までは5頭いたのですが、バイサオリックスのオスは闘争性が強い上、鋭い角をもっていますので、一緒に飼われているシカやレイヨウ達を傷つけたり、殺したりするのでオス2頭を他の動物園へ送り出し、現在は家族3頭だけがいます。

バイサオリックスは以前はナガツノレイヨウ（長

角羚羊）と呼ばれていました。これは1m近くも真直に伸びた、ヤリのような立派な角によってそう呼ばれていたのです。角はオスにもメスにもありますが、オスはとても闘争心が強く、ヒョウでも突き殺したりすることがある位で、この長い角を使って他の個体と争ったり、あるいは角を固いものにぶつけたり、こすったりするので、折れたりすり減ったりして、メスに比べるとかなり短くなっています。

§ 生態について

バイサオリックスはエチオピア、ケニア、タンザニアなどのアフリカ東部に住んでいます。生息地は乾燥した草原地帯で、そこで草や木の小枝などを食べて暮しています。バイサオリックスは1頭のオスが率いる小さな群で生活しています。それはとぼしいエサしかない乾燥した草原では食糧が全部に行き渡らないので大きな群が作れないのでしょう。また乾燥して水の少ない環境で暮すこの動物は体がその環境にとってもうまく適応し、便は水分を充分吸収されたコチコチのものをしますし、暑い日中は休み、涼しい朝方と夕方だけ活動するそうです。そういうわけで一日の飲む水の量はごくわずかで済みますし、長い間水を飲まなくても平気だそうです。

§ エサと糞

現在、天王寺ではチャド、マック、チャッピーの

3頭のバイサオリックスに青菜210g、ジャガイモ3000g、ニンジン1500g、固型飼料3000g、フスマ420g、牧草9000g、パン540g、塩300g、カルシウム剤300gを与えています。元気ものの3頭はこれだけのエサをペロッと食べてしまいます。

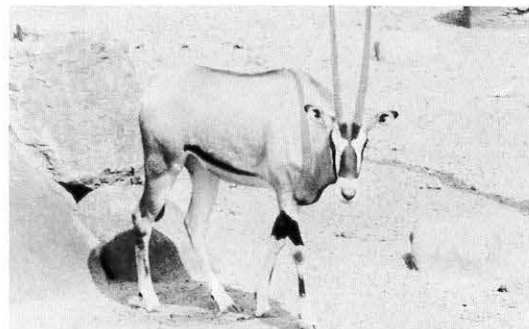


バイサオリックスが居るカモシカ園

面白いのは糞で、乾燥した所で生活するバイサオリックスは水分のないコチコチの糞をします。1回の排便で250~300粒の便を出しますが、便の1粒は0.5g位でギンナンの実位の大きさです。ベタベタしていませんし、小さな粒なので、あまり糞という不潔な感じはしません。

§ 繁殖

バイサオリックスは熱帯産の動物のせい、出産の時期はあまり一定していません。日本産の動物だと子供が生まれるのは春に集中するのですが、天王寺のバイサオリックスの場合、出産は1月の場合もありましたし、6月や8月だったこともあります。



立派な角が印象的です。

メスは発情すると大変静かになり、そのかわり食欲がグンと減ります。そうするとオスは逆にソワソワはじめ、始終ピッタリとメスに寄り添っています。そして角でメスの腰や腹をなでるようにしています。交尾する時は前肢でメスの後肢をかくける動作をします。メスが十分に発情していない時はこうされるとすぐ逃げるのですが、逃げない時、オス

はメスに乗りかかって交尾します。うまく受精すると260日から300日の妊娠期間で子供が生まれます。子は他の草食獣と同じく、生後すぐ立ちあがってヨタヨタしながらも歩けます。しかし、哺乳の時以外は座っていることが多く、それも首を腰にのせるように曲げて小さくなって座っています。これはライオンやヒョウなどの肉食獣の多い地方で育つ子供が身を守るための本能的な姿勢なのでしょう。こうやって元気に育った子

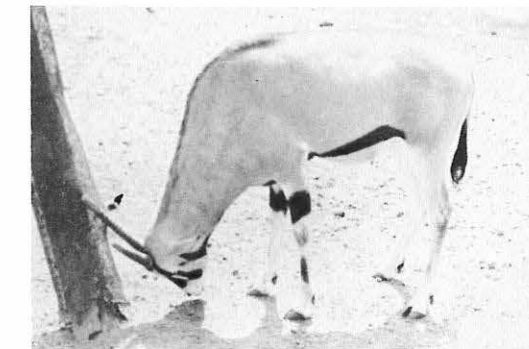
子供は4・5ヶ月でもう離乳します。

バイサオリックスは親になるとあまり鳴かないのですが子供の間はワンワンと鳴きます。始めて繁殖した時、この声を聞いた係の人は犬でもまぎれこんだのかと大変驚いたそうです。



排糞姿勢、ギンナン大の糞をします。

立派な角を持つ、美しいバイサオリックスが今後も天王寺で順調に繁殖することを係員一同望んでいます。



オスはこうやって角をこすりつけ、すり減らしてしまいます。

(飼育課・獣医師：長瀬 健二郎)

キーパーズ・アイ Keepers' Eye ①

おどし方様々



耳をふせて
歯をむきおどす
ジャングルキャット



針を逆立てておどす
ヤマアラシ



ワッワッとうなるパカ

動物がケガをしたり、病気になった時、治療をするために、どうしても動物を捕獲しなければならない時があります。この時、動物達は様々なおどかし方で私たちを手こずらせます。小獣舎に飼育している動物の中では、ベンガルヤマネコ、ジャングルキャット、ゴールデンキャット達は、ネコと同じ様にフーフッと声をあげて、歯をむきだし、両耳を後にねかせ、背中を弓なりにさせておどします。ヌタテ

ガミヤマアラシは、体中の針を立てて、後向きになって突進してきて、尾を地面にたたきつけて、ドンドンとドラムの様な音をたてます。又、パカは後足で地面をトントンとたたきながら、ワッワッという声を出します。おどし方で一番有名なスカンクは来るなら来てみると言わんばかりに尾をふりかざします。この様に動物達のおどし方にも様々な形があるので。

下火にならないラスカル人気

テレビのアニメーションで一躍有名になったアライグマ達。北園の小獣舎にいるアライグマ一家の家の前では、遠足で動物園に来た幼稚園



の子供たちが、アライグマ科 アライグマ
ラスカルのうたをみんなで大合唱！ 担当の僕もご満悦。でも“みんな”うたを合唱するだけじゃなく



イヌ科 タヌキ

タヌキを見て「あっ、ラスカルだ！」と言っている子がいるので念のため。（飼育課：農本 武志）

て、アライグマとタヌキの違いぐらいは勉強して帰ってね。アライグマはアライグマ科、タヌキはイヌ科の動物なんだから。いまだに

動物園ニュース

☆イワトビペンギンのふ化

1月末から2月にかけて2番いのイワトビペンギンが産卵、抱卵をしていましたが、1月29日に産卵した卵が3月9日、ふ化しました。ふ化日数は39日で、日本の動物園では初めての繁殖でしたが、残念ながら17日目で惜しくもヒナが死亡してしまいました。残りの卵3個は全て無精卵でした。

☆マレーグマの母仔、一般公開

で、一昨年2頭出産したのに続くおめでたです。

3月25日にはジャッカルが3頭生まれました。ジャッカルは当園で過去繁殖の記録はありますが、今回出産したメスは初めての出産で心配されましたが、母仔共に順調です。（妊娠日数：コヨーテ57日、ジャッカル61日）

☆「地下道のスロープ化」完成

天王寺動物園の南園と北園を結ぶ連絡地下道は、

夢が広がるショッピング... 近鉄がお届けします



上本町店 (06) 779-1231

アベノ店 (06) 624-1111

奈良店 (0742) 33-1111

近鉄百貨店

和名、英名、動物のイラストの入った見やすいもので、入園者にも好評です。



☆コヨーテ、ジャッカル、誕生

3月21日、コヨーテが出産しました。赤ちゃんは4頭で順調に成育しています。このコヨーテは昭和50年9月にサンディエゴ動物園より寄贈されたもの

◎お知らせ◎

毎月第3月曜日は休園日です。7月までの休園日は下記の通りです。

4月17日、5月15日、6月19日、7月17日

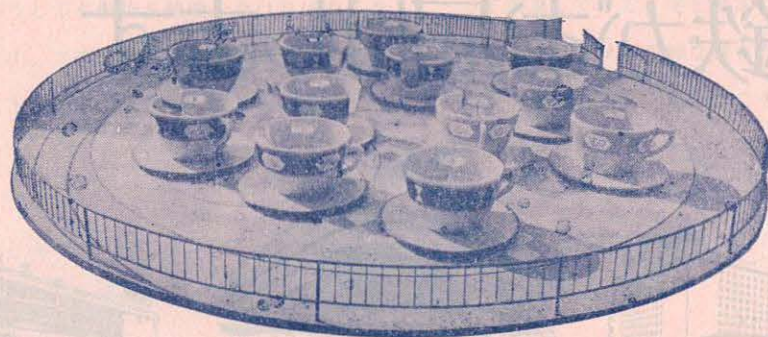
開園時間は9時半から5時までで、4時半に切符売止めになります。

キーパーズ・アイ Keepers' Eye ①

おどし方様々



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

一家の家の前では、遠足で動物園に来た幼稚園

の子供たちが、アライグマ科 アライグマ

ラスカルのうたをみんなで大合唱！ 担当の僕もご満悦。でも“みんな”うたを合唱するだけじゃなく



イヌ科 タヌキ

タヌキを見て「あっ、ラスカルだ！」と言っている子がいるので念のため。(飼育課：農本 武志)

グマ科、タヌキはイヌ科の動物なんだから。いまだに

動物園ニュース

☆イワトビペンギンのふ化

1月末から2月にかけて2番いのイワトビペンギンが産卵、抱卵をしていましたが、1月29日に産卵した卵が3月9日、ふ化しました。ふ化日数は39日で、日本の動物園では初めての繁殖でしたが、残念ながら17日目でも惜しくもヒナが死亡してしまいました。残りの卵3個は全て無精卵でした。

☆マレーグマの母子、一般公開

昨年11月9日に生まれたマレーグマの赤ちゃんは順調に成育しており、動きも日ごとに活発になってきたので、3月18日、母子一緒に放飼場に出し一般公開しました。マレーグマの赤ちゃんはメスで、初めて見る外の世界を珍しそうに眺めていました。



☆バーバリーシープの出産

3月22日1頭、3月27日2頭とバーバリーシープが相ついで誕生しました。ここ3年間、毎年2・3頭ずつ繁殖しており、バーバリーシープの放飼場は大にぎわいです。



☆案内指示板の新設

園内の動物舎の案内指示板が老朽化して見にくくなってきたため動物舎、便所などの案内指示板約60枚を新設しました。今回の指示板は黄色の地に黒色の和名、英名、動物のイラストの入った見やすいもので、入園者にも好評です。



☆コヨーテ、ジャッカル、誕生

3月21日、コヨーテが産卵しました。赤ちゃんは4頭で順調に成育しています。このコヨーテは昭和50年9月にサンディエゴ動物園より寄贈されたもの

で、一昨年2頭出産したのに続くおめでたです。

3月25日にはジャッカルが3頭生まれました。ジャッカルは当園で過去繁殖の記録はありますが、今回出産したメスは初めての出産で心配されましたが、母子共に順調です。(妊娠日数：コヨーテ57日、ジャッカル61日)

☆「地下道のスロープ化」完成

天王寺動物園の南園と北園を結ぶ連絡地下道は、今まで階段式でしたが、お年寄りや子供など入園者の安全をはかるとともに、日、祝日などの混雑緩和対策として、スロープ化するため、さる11月7日から改造工事を行っていましたが、このたび完成し、3月18日、動物や幼稚園児と一緒に「通り初め」を行いました。



☆児童動物画展

WWF J (世界野生生物基金日本委員会) 主催による第2回児童動物画コンクール入選作品展が、北園展示館で開かれています。これは同委員会の募集した入選作品の巡回展の一環として行われているもので、全国の学校、団体から寄せられた17,204の点中、入選作品92点が展示されています。期間は、3月18日～4月23日です。

☆春の催物

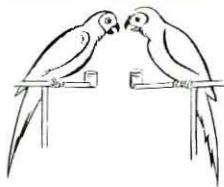
4月23日から「春の動物園まつり」が開かれます。期間は5月7日までの日曜、祝日で、期間中、動物の無料相談コーナー、幼稚園児の遊戯、人形戯、マレーグマのペットネーム一般募集、ボランティアによる動物ガイドコーナー(幼稚園から小学生を対象)、などの催物を行います。また、この期間中、「動物園クリーンキャンペーン」と銘うって動物園の美化運動を展開します。なお、5月5日には象の目方を計ります。

◎お知らせ◎

毎月第3月曜日は休園日です。7月までの休園日は下記の通りです。

4月17日、5月15日、6月19日、7月17日
開園時間は9時半から5時までで、4時半に切符売止めになります。

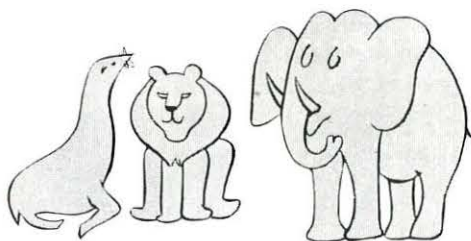
なきごえ 昭和53年4月15日発行 (毎月1回15日発行) 第14巻第4号(通巻152号)
 〒543 大阪市天王寺区玉水町2
 編集/大阪市天王寺動物園 電話 大阪 (06)771-0201
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 振替口座 大阪 37823
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦